



# サッカー日本代表監督 兼U-23日本代表監督 もりやす はじめ 森保 一

小学校から高校卒業までを、長崎県長崎市で過ごす。高校卒業後、当時の日本サッカーリーグのマツダサッカークラブ(現サンフレッチェ広島)に入団。平成5年にJリーグが開幕するとサンフレッチェ広島の選手としてプレーし、平成6年のサントリーステージ(1stステージ)優勝に貢献した。



日本代表選手としては、平成4年から平成8年までレギュラーとして活躍。平成5年のワールドカップアメリカ大会アジア予選で、ドーハの悲劇を経験したメンバーでもある。



現役引退後はいくつかのチームのコーチを歴任し、平成24年にサンフレッチェ広島の監督に就任。同年にJ1リーグ優勝を果たす。翌年も優勝して2連覇、平成27年にも優勝し、広島を指揮した平成24年から平成29年の間で3度のリーグ優勝を果たす。

サンフレッチェ広島の監督を退任後、平成29年に、東京オリンピックを目指すU-20日本代表の監督に就任する。その後、平成30年には、サッカー日本代表(SAMURAI BLUE)の監督に就任。

念の中に、相手の生存を脅かさないこと、そして合意して出来上がったルールを守りきること、というのがあって考えています。競争することは決して悪いことではありません。ただし、ルール違反をするとか、人の道に外れたようなことはやってはいけません。スポーツは、まさにそれを具現化したものです。相手を傷つける争いではなく、ルールを守って競い合い、高め合うこと。これが、スポーツと平和に共通する考えであり、平和の原点だと思います。いわば、スポーツとは平和を学ぶためのトレーニングであるとも言えるのではないのでしょうか。

**森保** オリンピズム(※2)の根本原則の中に「平和な社会の推進を目指すために、人類の調和のとれた発展にスポーツを役立てる」という言葉があります。これがまさに今言われたことと通じるのではないかなと感じます。平和を学ぶトレーニングの場として、スポーツを平和の推進や人類の発展に役立てる、ということですね。



**市長** そのとおりです。そして、相手の存在を認めた上で、ルールに基づいて競い合う。国同士でもそうでなければならぬですね。相手の国を滅

ぼして勝つなんていうのは間違っています。それなのに、最近ルール違反をして、さらにそのルールを「やめよう。作り直そう」としていることが多いように感じます。そういった行為を抑えるためにも、ルールを守ろうという人たちを増やしていかなければならない。ルール違反に対して「それはおかしい」と言える人たちを増やすことが、平和に向けて前進することになるのではないのでしょうか。私は、「平和を求める広島」の取り組みとして、そういった思いでまちづくりを進めているつもりです。

**森保** まさに、平和都市でありスポーツ王国でもある広島だからこそのまちづくりですね。

## まちにうるおいと活気をもたらしスタジアムを

**市長** まちづくりといえば、サッカースタジアムの建設場所が中央公園広場に決定して、本格的に動き出しました。森保さんは、新しいサッカースタジアムに望むことなどはありますか？

**森保** 抽象的な言葉になってしまうのですが、まちにうるおいをもたらすものになれば良いなと思っています。訪れた人たちに、笑顔になってもらえるような場所であってほしいですね。そして、サッカーを通していろいろな人々のつながりができて、それが広がっていき、広島がさらに活気あるまちになれば良いですね。

また、世界的に見ても、現代のサッカースタジアムはサッカー以外でどう活用できるかという観点で作られることが多いと思います。そういった意味でも、人々の日常に溶け込み、まちにとって財産となるようなスタジアムができることを期待しています。

**市長** ありがとうございます。今言われたお話なども取り込んで、どのようなスタジアムがまちにとって良いのか、これからも多くの方の意見を聞きながら進めていきます。応援をよろしくお願いします。

## 歴史に残るようなオリンピックに

**市長** 今年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。森保さんの、オリンピックに向けての思いなどを聞かせていただけますか。

**森保** 私自身、金メダルを取ると言っていますし、選手たちも当然そのつもりで頑張っています。スタッフも含め、皆が日々、最善の努力をしてレベルアップしていき、オリンピックに向けて最強のチームを作っていけるようにしたいと考えています。そして、応援してくださる全ての人々に喜んで笑顔になっていただけることを目指して、また、日本のサッカーのさらなる発展のため、今できることを最善を尽くしてやっていきたいと思っています。

**市長** ありがとうございます。非常に頼もしく、期待で

きるお話ですね。

私自身の話になるのですが、私にとって日本で開催されるオリンピックといえば、小学生の頃に教室のテレビで見たという印象が強く残っています。当時、はやっていた炭酸飲料があり、その王冠(瓶ジュースのふた)を集めるとオリンピック選手のフィギュア(人形)がもらえるというのがありまして、一生懸命飲んだのを覚えています(笑)。そのオリンピックが半世紀以上経って再びやってきて、子どもの頃とはまた違った思いで迎え、そして今の子どもたちも、当然私の子どもの頃とは違った思いでいるのだろうと思います。オリンピックというのは、そういった思い出でもあり、もっと言えば自分の人生の歴史の一部と言えるような大きな出来事だと思うんです。その中で、自分たちの誇りでもある日本代表が勝つことができれば、とても感慨深い

ものになると思います。高い目標を掲げて、しっかりとやり切っただけであれば、きっと歴史に残る大会になるのではないのでしょうか。

**森保** そうですね。そして、サッカーはもちろん、スポーツ全体でのオリンピックですので、オリンピックによってスポーツに興味や関心を持つ人が増え、スポーツを通して人々がより元気になれる、そんなオリンピックにできればなど。スポーツが、地方にとっても国にとっても必要なんだということ、オリンピックを見て感じていただければ何よりだと思います。

**市長** 期待しています。よろしくをお願いします。

**森保** この広島で経験したことを生かしながら、日本代表を引っ張っていきたいと思います。ぜひ、皆さん、これからも応援をよろしくお願いします。

平成27(2015)年のサンフレッチェ広島優勝パレードでファンの声援に



※2 オリンピズム フランスのピエール・ド・クーベルタンが提唱した、近代オリンピックを支える理念のこと。スポーツを通して、体と心を鍛えよう、世界のいろいろな国の人と交流しよう、そして平和な社会を築いていこうという理念であり、その根本原則は、オリンピック憲章において定められている。

日本オリンピック委員会ホームページ「オリンピズムってなんだろう」より

